

翻訳

同一言語内での翻訳 (ex. 古典語の現代語訳)

頭の中にある明瞭でない考えを言葉にする

なども含む

誤訳

誤訳の発見

1. 原文を改めて訳し、照らし合わせる
2. 原文と訳文を照らす
3. 訳文だけを読む

誤訳の原因 → 言語の構造の差異にもある

翻訳は訳文の言語のロジックで考えるべき

- (1) アングロサクソン人の間では、他人の食物 ... 嘆ぐことは不作三

おかしい!

↓ 語法上

one: 主語をほかるときに使う

たとえ自分の食事であっても

- (2) 写真が ... 代わりに、時間のつづのバ ... なるた3う。

↓ おかしい!

↓ 教養

絵 → 写真: 19C

写真が絵によって代わる時代が

- (3) 私は、花売り少年の ...

おかしい?

↓ 花

flower children = ヒッピー

ヒッピー

- (4) お父さんは 毎日4時には子供部屋に降りていった。

おかしい?

↓ イディオム

on all fours: 四つん這いになって

子供部屋で お馬さんごっこをしていた。

- (5) 気軽に ... ボーリングである。

おかしい!

↓ 魔がさした

boring

あんまり簡単に勝ってしまうのも退屈だ。

- (6) 体勢が明らかにおかしい → あるときは

翻訳の上で

: せ; の感覚が△

カタカナ多クアイニイテ

固有名詞の翻訳は難しい → equivalent な交換は難しい

ex. タイティングール(鳥) → 夜鳴きうぐいす, イハナ子どり. などと訳してモグス
 ↳ 神話で詩の神と詩人を仲介する ... が"このようなイメージは出ない"

鮎 { ① 日本ではかくいい感じがある
 ② 日本では若い女性にTとえらゆる (like a young salmon と言っても)"

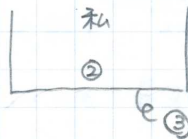
cf. 日本は虫, 魚, ... に対するリテラシーが高い
 → この感性で構築された価値を翻訳で再現するのがムズかしい

翻訳の実際

(1) Such ordinary things make me afraid.

そんななんでもないこと

①



i) ①を主語にするか, ②を主語にするか?

→ 日本語は人句を主語にする方が一般的なので, ②が普通

cf. 明治20年代の二葉亭四迷らによつて翻訳のスタンダードが定まる

↳ ネイティブに師事 → 聴解能力⑤

↳ この頃, 文体は入り乱れている

雅文

口なし調

直訳体

← これが今でも生きている

ii) { ②は①が怖い { のいずれか?
 ①が②は怖い

→ 日本語は主語を省略し推定させるので, 下がよい

∴ 日本語: 動詞で文が終わる

→ 主語を最初に入れると述語との距離が長くなり, 流れ△

その連続 → 翻訳はこら辺のニュアンスも拾ってやる

↳ 物語は結末を迎えてから語り出している

→ バッド"エント"後の辛い心情を表している

→ 担々と書く

cf. 坊っちゃん (… 不可解な点 が T=くさんある というのは) も

まが死ぬという 結末の時点から書き出されている

複数形 → 日本語は文脈から単複を推定するので 訳出しないのが 普通

red hair を "赤毛" と訳しているのか?

cf. WWI 前後に 推理小説の 黄金時代

・ 毒薬, 毒ガスなどの 一般化

・ WWI の 惨劇 の 影響

・ 社会進化論: 進化 ↔ 退化 (邪悪) という考えが 導入され

殺人鬼 の 子孫は 殺人鬼 という 定式が 生まれる

↳ この 象徴として 赤毛 が 生まれる

cf. ルナ『人参』: 赤毛を馬鹿にしている 主人公

→ "赤毛" の もっとマイトスイメージ (不吉, 凶兆 …) も 含まれる

Yet… → 接続詞を機械的に訳すのは 良くない

↳ 英: SVO ⇔ 日: SOV という 構造的差異を

無視することになる

(2) She を "彼女" と訳すべきか?

↳ 複数いると 分かりにくい

↳ 指示内容が必要

→ "娘", "クリスチン" などとしてやるのが いい

過去進行形で 状況を語り, 過去形で 事件を語り

I saw her lying… で "I saw" は 訳出すべきか?

→ 一人称小説で あることは 了解済みなので,

「赤い髪を見た」とすると 1つこい 感じがする

pale は 「青ざめる」 だけでなく 「色が濃くない」

making daisy - chains with laborious - pleasure

→ "word to word" で訳すと 矛盾が 生じる

⇒ 「面倒なことをいざばらす うれしそうにやっている」という 肝を表す 言葉を探す

- 健康
- ◎ せせと
- - 全懸命

Her big blue eyes were with concentration



→ "目が奥まで" とすると少し違う ("目" = グロースアップで書きすぎる)

→ 主語を、女長にする

(3)

(2) "She" と "彼女" はちがう → "彼女" の使い方に気を付ける

{ 彼女 - 指示内容は主要人物
She - 誰でも可

進行形を「～している」と訳するのはいつも適当な訳ではない

主人公の知覚 (見る、聞く、思う...)

→ 一人称小説の場合は、略せる場合が多い

ex. I saw her. ≠ 「私は彼女を見た」

↳ どちらの方が見たという行為を重視している

(3) 日本語と英語は 1対1 対応ではない

ex. with laborious pleasure → 丹精する喜びで... 'w' x

↳ せつせと 'w' o

「目が見開かれた」は おかしい

↳ 日本語では特に強調したい場合を除いて 人間が主語

(3) 「ほっちゃんとしたかわいい足が みき出し だった」は ひっかいり

{ 日本語 = 大事なことは最後に言う → 最後の言葉が強調される
英語 = "最初"

⇒ 「みき出し」ではなく「その様子か」かわいい」と言いたいのであれば、

「かわいいだった」を最後にもってくるべき

(4) 会話が不自然

(7) "Dr old Webster" が 老人に調

{ old は「昔なじみの」という意味も
「～じゃ、みたいな」に調は現実的でない

(6) cockney accent

{ cockney - London の下町
accent - 「なまり」

いかに、{ 「なまり」とするのは イキ-ジパチ ちがうような
「なまり」と訳出しすぎ (6回も!)

台詞の訳し方 ... クロスワードパズルのようなもの ; 「かみあかせ」が「下ッ」

「ちょっと変なの」

「変?」

「ちょっと下町なまりなの」

こうすると、
「なまり」が1回しか出ず
しかも全話がかみあっている

日本語は トリリンガル

漢字 → 表意文字
平仮名 → 表音文字
片仮名 → 表音文字 + 外来語に対応

使い分けが必要

試談

(3) (俳語) 字幕は 日本語の自然な流れを重視する

アメリカのユーモアを直接訳さず、日本のユーモアと置換してリする

She was growing fast.

育ち盛りのT =
育ちの早い子 T = "T = の T = " - 「今は居ない」ことを匂わせる
彼女が发育が早かった = 发育はビミョー

1.7.1 アクションの翻訳

(前談) 哲学系の書物は翻訳にかかっている

みおず書房、法政大学出版者 ... x
新潮文庫 ... 多い
岩波文庫 ... x

2-2 翻訳されると、なぜ哲学は難しくなるの?!

ex. the existance of living human individuals
→ 生きた人間の個体の生存

ex. philosophy → 哲学
↳ 「独自の主張」らしいの意味

⇒ 訳語研究が鍵となる

ex. society → { 人間集団 (ユキチの時代)
社会

↓ 時代を下ると ...

共同体への地域社会の介入 ... ← 別道のコトバとして機能

日本語 - 動詞中心
英語 - 名詞中心

⇒ ㊦ → ㊧ においては 名詞 → 動詞 の読みかえが必要

ex, 1文目

全ての人間の歴史がまず前提とすべきなのは、生きた人間が

生きていたという事実である

ex, the physical organization of these individuals

個人は物理的組織として存在しているということ

⇒ 抽象的なものは動詞として訳出する

3 「逐語訳 = その至上」という観念がある

↑ 寺子屋教育の伝統 (漢語訳は 一対一対応)

+ 一対一対応において読者に「読み」を促める

→ しかし、それで「翻訳」と呼べるのか?

→ 翻訳者は自らの「解釈」を翻訳に反映すべきではないのか?

One of uses of reading is to prepare ourselves for change.

<訳> 読書の交わりのひとつは変化に備えることにある

<解釈> 「変化」とは何ぞ? それに備えるとは?

→ 人生における状況の変化を、読書により疑似体験する (131)

and the final change alas is universal.

<訳1> 最終的な変化は普遍的な

<解釈> "the final change" とは何ぞ?

→ 死

⇒ この解釈を読者に匂わせて訳す

<訳2> 悲しいかな、最終的な変化は誰にでも訪れる

* 「死」というコトバは避ける (死が訪れる)

翻訳は、その訳文のみで理解できるようにしなければならない

フィクションの翻訳: 映像翻訳入門

1 (1) 映像翻訳は俳句である

= 条件・制約がはっきりしている

→ 本質を短い字数の中で明示しなければならない

(4) 字幕は誤解を招いてはならない

ex. 「金」は「主人」か「かぬ」か 混乱するので使わない

(6) 名白詞は観客の意識をひきつけすぎるからダメ

2 (2) 固有名詞は、忌避 (特にカタカナ)

ex. ニューヨーク → N.Y.

ロサンゼルス → L.A.

グエイズアイデス → ('; w;')^{B.Y.}

⇒ 訳出しないで"ポイントのみを出す

(13) ex 「カネオクレタム」 → { 金迷い、頼み
金遣い、飲み

ex 「ウスバカゲロウ」 → { 薄、馬鹿、下郎
薄羽虫学名

(14) ex 「イリオモテヤマネコ」 → 一目では了解しにくい

3 (1) 2秒; 7~8字 以内に 状況を的確に伝える

「私の愛に返して」

「一方通行の愛は嫌」

「同じくらい愛して」

「愛してほいぬ」

「貴方の愛を頂戴」

} ②

} Δ → 状況次第

(12) セットで1つのメッセージを云わせる

(13) ① Don't move. { 止まれ (止る 三動)
動くな (止る 四)

② 男の「No」は由きとれるので、「いいえ」としていい

→ 女の台詞を「ニニとってます?」とか「ニニに誰か来ます?」とかに

(14) ② { 女: 光年、知ってる?

男: 知ってるとも、365日アイスクリームを抜くことと。

light-year ← 光年 → heavy year

日本語を見ている観客にも笑ってもらえるようにしていい

① { 女: 血液型は? type { 血液型
男: 無慈悲です。 { 性格

代案 → { i 男: 冷血 とする (← 俺は笑えないらしい)
ii 男: 一型 とする
iii とりあえず"笑わせりゃいい"

名詞の翻訳

The anniversaries of their certification

→ 皮肉の雰囲気を出してやらなければ"ならない"

△ 彼ら (= 患者たち) の認定記念日

○ 晴れて患者と認められた記念日

{ privacy } もともと日本語にない概念 → 近似する言葉がない
identity

→ 少し、説明的になっても文で訳可

(「自己同一性」, 「アイデンティティー」などとするのはイマイチ)

翻訳の方法 (今までのおさらい)

1 日本語の特性

(4) 呼称も問題

{ 「おはようございます, 〇〇先生」などと言うかい?
"chicken" { 男に言うとき「おくひょう者」
娘に言うとき「やいはいこちゃん」

(5) 学会的には大問題らしい

{ 「日本語に相はない」という説もある
過去 → 「～た」というのは明治に定まった公式
と一々ばかりに拘束するのモビショ。

2 翻訳のための文法

(3) { ・ 私が彼女と初めて会ったとき、彼女は学生だった。
・ 最初に会ったとき、その娘は学生だった。

(4) { ・ 私が私の叔母だと思ふところの女性を前方に見た。
・ 私は前方の女性を見て、叔母かな、と思った。

(7) 受動態 { (米) テキトーに「ほんぽん」使う
(日) 「被害」と「評価」で使う

- 18) {
・あなたが援助したってら、私たちは今日ニニにいた、T=T="3"う。
ニニが書いたニニに
・私たちは今日ニニにいらるのも、あなたの援助の おかげ。
なり

19) 直接話法と間接話法の中間形態 (抽出話法) も大事

3

14) 原文のスピーチレベルと合わせるのは大事

→ (14) 時代を対応させるのは 70年代の難問

- {
・ 1950s の若者とは どう訳すか?
・ ギリシア神話に 昇格するか?

翻訳における固有名詞の扱い

{ 日 → 英 : 訳すときに地名などは切り捨てる (外国人読者は日本大学として日本の作品をよんでいるわけではない)
 英 → 日 : 忠実に訳出する

Q1 Eureka

{ 地名
 「ユリイカ」か「ユーレカ」か

簡単な語による言い回しは訳すのが難しい

ex. I'll get him. → 「殺す」

Q2 what I had going ... とは?

Q3 I knew about that wagon. ... とは?

{ この作家はこういって言い回しが上手い
 (作家のクセを見抜くのは大切)

イテゝムに反応するのが大切

日本語のクリシェを用いる

Q5 You can smell salt in the air.

"磯の香りがする" など

名詞の用いられ方にも注意する

(4) his girlfriend はそのまま「ガールフレンド」としていいか?

(5) my friend は「友達」でいいか? 「友人」でいいか?

■ 翻訳の理論 1

1.

(1) Quine の holism

= 人の知識はネットワーク構造を有しており、現実世界により一部が変わると全体の構造が変わる

(2) Quine の Radical Translation

= 翻訳によって表せるのはほんの一部だ

母語によって思考の枠組みが規定される

→ この観点から翻訳を考えるために、モデルとして "全く未知の言語を翻訳する (根底的翻訳)" を考えてみる

このとき、辞書を作るために 観察・試行を重ねなければならぬ

→ しかし、それで意味が分かるのは 一部のみである

⇔ それ以外は 意味を 確定できない

→ 辞書作成者が自分の 思考の枠組みを用いて作る

⇒ 翻訳というのは、その実、不確実なものである

・ 翻訳を始めとし、異文化交流は 一方から一方への 思考の枠組みの押しつけとなる

→ その後の反応は 2種類に分類される

修正 = 押しつけられた概念を自分なりに消化する
反発 = " " " を拒否する

ゆ. 猫も人間から 人と下の論理を おしつけられているよね

2.

11) 翻訳の歴史の中で最も大切なことを言った人

一つの単語が どうして複数の意味をもつのはなぜか? ... たとえば老と=

12) その大切なこと

② 違うものを同価値とすることが重要

ex. 1958年の著者コトバで書かれた英文を、現代でどう翻訳するか

③ 詩の翻訳は本質的に不可

① { i) 同言語内翻訳
ii) 異言語間翻訳
iii) 記号間翻訳

⇒ このように 翻訳の定義を拡張したことで、何が起きている?

iii) 小説 ⇔ 映画 ⇔ マンガ など

・ Jakobson はこの translation に積極的な意義を見出していた

(このことは 原作を解釈したかき一般の人々と 遂行している)

ex. 難解な原作が、映像化したものを見ることで、理解し易くなる

ii) 古典 ⇔ 現代文, 英々辞典 など

ex. 源氏物語 の 橋本 和久 訳

iii 感覚的な原文の 豊田 泰 から、女子大王の言葉への 翻訳を試みた

ex. 国語辞典

┌ 広辞苑 ... T=T'のおまかせ
└ 新明解 ... 言語内翻訳を目指す

② Jakobson の意味

┌ 一般 ... 翻訳 = 質の悪いコピー (元 > 新)
└ Jakobson ... 「翻訳することによって新Tは意味がバカバカしい」

その概念がやえって鮮明になることありうる」とする

the meaning of linguistic sign is translation.

ex. 『千夜千一夜』(夏目漱石)の映画化

⇒ 百合の重要性が明確化

Walter Benjamin

20世紀前半 ... マルクス主義の思想的インパクト (大)

+

ユダヤ人の富裕な家庭に生まれる → 神秘主義

"オーラ" の喪失 ... コピー品には 原典が持つ "オーラ" がなくなる

ex. 映画 ... { 映画館で見る ... 上映期間にしか ... くり返して 見られない → 0
DVD で見る ... 好きなときに、好きなように 見られる → X

Benjamin は マルクス主義と神秘主義が混在している

ex. モーリガンのコピー ... 一般に流通する

⇒ { マルクス主義 ... 大衆がモーリガンに 触れられるようになる、て (笑)
神秘主義 ... 一度限りの感動が なくなる、て (笑)

一度限りの感動が 失われる

Benjamin: 翻訳家 > 詩人・小説家

↑ { 翻訳家 ... 複数 の言語 → どちらの方がいい!
創作者 ... 単一 の言語

↑
↓

{ マルクス主義者としての 国家を超えた連帯の賛美
ユダヤ教徒の「元々言語は一つだった」という思想

19C ... 個人の "創作性" に重点がおかれる

⇒ 「二次的な翻訳は芸術として 二流である」との考え方が普及する

(1) 複数の言語を重ねること、極めて 普遍的な共通性 を考える

(2) 翻訳の過程において、翻訳家は どちらの言語 でもない領域に 踏み込み こととなる

(英文を日本語訳しているとき、英語で悩んでいるのか、日本語で悩んでいるのか、分かんなくなる)

(3) 花瓶の比喻 (ジグソーパズルでも可)

→ 1つ1つの言語の形は違えど、全てを 統一的に見れば、人間が元々持っていた

元始の 統一言語が 現れるかもしれない

これに 最も 近いのは 直訳

3.

一番前、日本の英語の教科書でトップシエで占めていたものの登場人物である
ジャックとベティを用いたもの

2.

渇中書由論争 (文学の翻訳は文学であるべきか論争)

当時、京大教授が集まって住んでいた京都は、一つのサロンとなっていた

吉川：翻訳否定派、漢文学
大仏：" 肯定派、西洋文学

吉川²：「逐語訳」

↳ Benjamin と対比

■ Chef's House

① That summer → } 「あの夏」 " 遠い
 " 「この夏」 " 近い

② there は彼にとって「こち」

(1) what I had going → 私が今、進行中のもの
 → 私の今の暮らし

(後述の "my friend" から今は亭主もいて生活をやり直している^{と考える})

③ he was on the wagon : 比喩で「途中で」「進行中で」、なにかを乗っている
 → 「酒をセめている途中で」という意味

④ that wagon : 酒を断つ過程

(2) + } ⇒ "knew about" に色をつける
⑤ "But he wouldn't ..." から、断る根拠となる

knew about " 知っていた + 感情

↳ 翻訳者の解釈

→ 例えば "Was が酒を断つと言って何度も断っていない状況を見てきた" という
ことを推して、"思い知っていた"

⑩

(3)

アル中は、酒が入ると泣き上戸になる。というスタンダードな反応がある

→ 「はい、was a 泣き上戸はそういうことじゃないと思、T=」 ということ

→ 「本気で酒をたっ飲んだと思、T=」 ということ

of. 豪傑訳、超訳めつと3" 明治

明治初期の翻訳 ... 非原文主義的な創作訳

→ と"のような読み方をしていたか かわかりやすい

↓

森田思軒は、原文と訳文を一対一対応させる姿勢の確立を目指した

外来の小説に対する文化的「受け皿」

ex. 怪談 ... 祖传的 (『四谷怪談』の髪が抜け落ちるシーンなど)

↓

スティーブン・キング ... ラヴ・クラフトからの直接的に脅威を描かない

↓ 始め怪談として受け入れられ、「ちょっとちがうぞ」と思われる

ex. シェイクスピア

『ヴェニスの商人』 - 大岡士は「きりぎりす」オモロイ
『ハムレット』 - (how?)

「翻案」から「翻訳」へ

1

(1) 中国(清)との競争

2

(3) 福澤諭吉 - 蘭 → 英

(4) 加藤周一曰く 歴史の発展段階 { 中国 ≠ 欧州
日本 ^{can} = 欧州

3

(I)

(3) literature = 文学

↓ { literature とは ... 文壇学
『論語』の文学としては ... 学問一般

⇒ 混在することとなる

3

(I)

(6)

- ④ { 明治 漱石, 鴎外, 芥川 <ら> が達成
昭和 漢文が弱くなって、バランスが△

(8)

- ⑤ カタカナ語・漢語には < と > となく プラスのイメージがまいる

(II)

(3) 二葉亭四迷

- 明治 { 学術用語 ~ 英・仏・独語
実用語 (外交・軍事・商業) ~ 露・中語

四迷さんは 軍人になりたくて ロシア語を学んだらしい

当時、知識人は 大学で直接外国人から学んでいた

② (i) A 漢文 + 和文

自分は座して、四顧して、そして耳を傾けてみた。

原文の繰り返しを入れた

(iii) A から車の音が虚空に響きわたった

"k" の連続 (*"虚空に" は原文にない)

四迷は
原文の語を
再現しようとした

普通の男女のプラトニックな愛を、狩人が司る

従来の日本では 遊女、宮廷恋愛 程度しかない

... 日本にTFあった文化がとりこまれる

(5) 森田思軒

日本語と英語の構造の差異

cf. フランス語に "探偵小説" というジャンルがない

- ・ "探偵小説" はむしろ "警察小説" と呼ばれる
- ・ アメリカのニヒル、ミッドのギャング映画が流行

Twain は当初 小説家 だと思われていた

- ・ 近代化という国家的目標の中で、外国文学も シリアスなものを中心として摂取していた
- この中で、ユーモア小説は卑下される

WWI 後、摂取の仕方が変わる

- ・ 『新青年』: 途中から、小説・マンガなどを中心とする 都会型雑誌へ
- この中で、ユーモア小説が摂取される

(1) ピカレスク (悪者小説) という伝統が 西洋にはあった

↔ 日本にはない

日本型ヒーロー像 〇 インテリジェンス, 悩む

ex. 『キャラクター・イン・ザ・ライ』

原文も 方言 とはいえない

↳ "that ain't no matter" 程度しかない

⇒ 訳すときに 方言を用いても用いなくても 誤りとはいえない

5

(1) 方言 〇

she called me a lot of other names ^{悪口}

(2) 方言 Max でやってみる

(3) 方言 もうやってみる

(5) 方言を外して、悪口を主にしてみる

誤訳
↓
"

(6) 方言をぬく

(4) (・w・)? → 大江健三郎の原点となる 〇 翻訳は質が悪くとも価値がある

不正デモクラシー ... アメリカの著作がアメリカ文学として受け入れられ始める

The Call of the Wild

(あらすじ) 大富豪のペットが捨て犬に → 自然でがんばる
→ 狼の長となる

(背景) ダーウィニズム + アメリカの自然

(ジャンル) { 動物文学 樹立の契機
└ 日本では子供の教育に良いとされて活版化する
・ 任侠物の「黄金の方程式」の先駆け
(怪我をしたとき助けてくれた恩人が殺される)
→ 恩人の復讐を果たす

「動き」の訳出 → 臨場感

① 踊っていた時、恐ろしい吠え声を聞くと同時に
読者は { X スピード感
O 「あ、時ね」「あ、同時ね」などと注意が止まる
→ 「〜と」 などとすべき

saw rushing ... saw と rushing は同時

→ 「とんでくるのを見た」
と止まる

(「w」) あとはプリントでよ。

補足とまとめ

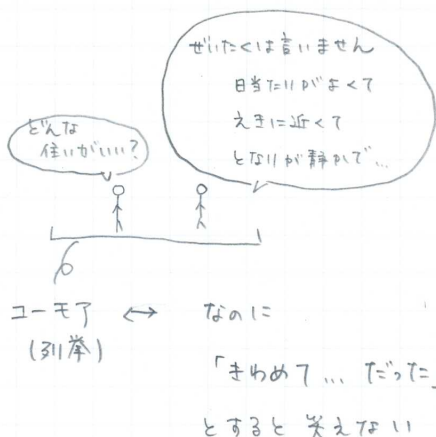
<ハリー・ポッター>

2. ちょっと普通とはちがう男の子

まず、 ①

第1に、 ②

ついでに、 ③



- ペンの中のペン先 ... くだい
- 眉根を寄せて ... そんなコトじゃない
- それらしい ... どのくらい？
- 羽ペンが動かまが止まった ... 羽ペンが勝手にうごいているみたい
- そーに、その家 ... みた
- ぼうぼうと ... 荒れ果てる擬態語じゃない
- 「不気味」 ... 「」はどうかと（原文はイタリックなんだから）
- ほんとうなのかいいまで ... は ... 分かりにくい
- ティターの正装 ... 「目人形」とかあった後では違和感

< 翻訳：まとめ >

* 演習課題 (フィクション2) (13)

They'll do fine.

the little ones (fish) = (彼れに立ってはい) 小魚

→ いかい、それをコゴフかなすのはどうか？

→ 励ましのコトバをかける

6

(1)



{ 19C ... originality がよい → よって翻訳 X
 ↓
 それ以前 ... 古いもの = 古いもの → よって翻訳 O

演習課題 (7h7シヨン2)

(2) 原文が"シンプルなので" 訳文もシンプルに

「よく分かってはいたが」

「それほど単純ではないつもりだったが」

(4) 「君は」は入れない方が「良い」

「... まては僕を怒らなくていいか...」